

(別添 2 - 1)

学 則 鴻池学園高等専修学校用

①商号又は名称	学校法人 鴻池学院
②研修事業の名称	学校法人 鴻池学院 鴻池生活科学専門学校 介護職員初任者養成研修 鴻池学園高等専修学校コース
③研修の種類	介護保険法施行令に基づく介護員養成研修
④研修課程及び 学習形式	介護職員初任者研修課程 ・ <input type="checkbox"/> 通学形式 ・ 通信形式 (通信学習実施計画書 (別添 2 - 1 0) を参照。)
⑤事業者指定番号	1 4
⑥開講の目的	学校法人鴻池学院 鴻池生活科学専門学校においては、姉妹校である鴻池学園高等専修学校の福祉コースの生徒に対して、より深く介護福祉を学び、理解させ、将来において高齢化社会を支える人材の育成に資するため介護職員初任者研修を行なうものである。
⑦講義・演習室 (住所も記載)	講義及び演習室 大阪府東大阪市西鴻池町 1 丁目 2 番 2 5 号 鴻池生活科学専門学校 普通教室 (1 階)、介護実習室 (講義室・演習室共に上記と同住所)
⑧実習施設	1 <input type="checkbox"/> 実施しない 2 実施する (実習施設一覧表 (別添 2 - 7) を参照。)
⑨講師の氏名及び 担当科目	講師一覧表 (別添 2 - 3) を参照。
⑩使用テキスト	介護職員初任者研修課程テキスト 出版社：日本医療企画
⑪シラバス	シラバス (別添 2 - 2) を参照。
⑫受講資格	鴻池学園高等専修学校 福祉コースの生徒に限る。 学内の規定出席日数を満たしていること。 本校が行う判定試験基準を満たしていること。
⑬広告の方法	校内にて各担任より広報する。
⑭情報開示の方法	下記ホームページにおいて情報開示する。 ホームページアドレス： http://info@konoike-sw.jp
⑮受講手続き及び 本人確認の方法 (応募者多数の 場合の対応方法 を含む)	・ 受講希望者は、本学則と諸注意書を理解し、誓約書と、申込書を提出する。 ・ 鴻池学園高等専修学校発行の学生証を提示する。

⑯受講料及び受講料支払方法	43,480円(テキスト代、消費税含む) 鴻池学園高等専修学校でまとめて鴻池生活科学専門学校に支払う。 分割納入を希望する場合は、その旨を受講申込時に申し出ること。
⑰解約条件及び返金の有無	やむを得ない事情により受講できなくなった場合は、受講料を返金する。 1. 解約手続きは、受講開始3日前までとし、全額返金する。 受講開始2日目以降は、原則返金しない。 講習期間中は、返金しない。 2. テキストは、未使用に限る。
⑱受講者の個人情報取扱	個人情報保護規程策定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無) 受講生から得た情報は、予め使用目的を明示し当講座の管理のみに使用し、本人の承諾なしには他の用途に使用しない。但し、法令に規定された場合を除く。 なお、修了者は大阪府の管理する修了者名簿に記載される。
⑲研修修了の認定方法	認定方法：修了を認定した者には修了証明書を交付する。 研修の修了年限：8か月以内 修了評価方法：筆記試験による評価を行う。詳細は(別添2-9)修了評価の方法を参照のこと 不合格者は、1時間の個別指導の上、筆記による再試験を行う。 個別指導料：1,500円 再試験料：1,000円 再評価は、再試験のみ最大3回までとする。最終試験の結果、不合格となった者は、未修了者扱いとなり、修了証書は授与しない。
⑳補講の方法及び取扱	補講の方法：補講は個別対応補講、もしくはレポート提出とする。 ただし、(1)職務の理解、(2)介護における尊厳の保持・自立支援のうち「人権啓発に係る基礎知識」、(9)こころとからだのしくみと生活支援技術、(10)振り返り、以上についてはレポート提出による補講は認めない。その他の科目については、定められた基準により個別補講、レポート提出のいずれかを科すこととする。 レポート用紙3枚、文字数1,200字程度 レポートの添削、指導費用は無料 欠席等による振替補講は、1時間あたり1,500円とする。
㉑科目免除の取扱	科目免除の取り扱いは大阪府介護職員初任者研修実施要領の規定の通り取り扱う。
㉒受講中の事故等についての対応	受講中に生じた事故等は、加入している学生保険により対応する。
㉓研修責任者名、所属名及び役職	氏名：杉木 浩子 所属名：学校法人鴻池学院 役職：理事長

<p>②4 課程編成責任者 名、所属名及び 役職</p>	<p>氏名：多田 千治 所属名：学校法人鴻池学院 鴻池生活科学専門学校 役職：介護福祉学科 専任教員</p>
<p>②5 苦情等相談担当 者名、所属名、 役職及び連絡先</p>	<p>氏名：井上 香里 所属名：学校法人鴻池学院 鴻池生活科学専門学校 役職：介護福祉学科 専任教員 連絡先：TEL:06-6745-1353</p>
<p>②6 研修事務担当者 名、所属名及び 連絡先</p>	<p>氏名：大津 雅昭 所属名：学校法人鴻池学院 鴻池生活科学専門学校 連絡先：TEL：06-6745-1353</p>
<p>②7 情報開示責任者 名、所属名、役 職及び連絡先</p>	<p>氏名：大津 雅昭 所属名：学校法人鴻池学院 鴻池生活科学専門学校 役職：専任職員 連絡先：TEL：06-6745-1353</p>
<p>②8 修了証明書を亡 失・き損した場合 の取扱い</p>	<p>「養成研修修了証明書等の亡失・き損時の取り扱いに関する要領」に基づき証明書を交付する。 ・証明書交付に係る費用：無料</p>
<p>②9 その他必要な事 項</p>	<p>1. 遅参の取り扱い ・授業開始前の出席確認時点で出席が確認できなかった場合は遅参扱いとする。その際、当校が設定する日程において補習,もしくはレポートを提出しなければならない。</p> <p>2. 退校処分の取り扱い ・退校を希望するものは、退校届にその事由を記載し、校長に届け出る。 ・無断欠席、学力劣等、学院の秩序を乱す等の受講生の本分に反した者は、その事情により退校処分とする。 ・退校の理由にかかわらず、受講料は、一切返金しない。</p>

※1 大阪府からのお知らせ	大阪府介護職員初任者研修事業実施要領第2の2（1）より抜粋 【内容及び手続きの説明及び同意】 事業者は、受講の受付に際し、受講希望者に対し受講するために必要な費用等を明記した学則の内容及び研修を受講する上での重要な事項等を記載した書面等を配布するとともに、その説明を行い、かつ、あらかじめ受講希望者の同意を得なければならない。
---------------	---

※2 研修事業者の指定担当	大阪府 福祉部 地域福祉推進室 福祉人材・法人指導課 人材確保グループ 電話：06-6944-9165 ホームページ： http://www.pref.osaka.jp/chiikifukushi/
---------------	--

研修スケジュール (通信・通学)

コース名 鴻池学園高等専修学校生コース 定員 20名

年月日	科目番号、項目番号、科目名、項目名	講師氏名	時間		実習実施の有無
平成30年8月1日(水)	開講式・オリエンテーション	多田千治 片山貴子 井上香里 定井雅子	8:20~9:20	1h	無
	(1)① 多様なサービスと理解	片山貴子	9:20~12:40	3h	
	(1)② 介護職の仕事内容や働く現場の理解		13:20~16:40	3h	
平成30年8月2日(木)	(2)① 人権と尊厳を支える介護	多田千治	9:20~12:40	3h	無
	(5)① 介護におけるコミュニケーション	井上香里	13:20~16:40	3h	
平成30年8月3日(金)	(5)② 介護におけるチームのコミュニケーション	井上香里	9:20~12:40	3h	無
	(2)② 自立に向けた介護	多田千治	13:20~16:40	3h	
平成30年8月6日(月)	(2)③ 人権啓発に係る基礎知識	緒方しのぶ	9:20~11:30	2h	無
	(2)② 自立に向けた介護	多田千治	11:40~12:40	1h	
	(8)① 障がいの基礎的理解	定井雅子	13:20~14:20	1h	
	(8)② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		14:30~15:30	1h	
	(8)③ 家族の心理、かかわり支援の理解		15:40~16:40	1h	
平成30年8月7日(火)	(6)① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	渡邊典代	9:20~12:40	3h	無
	(6)② 高齢者と健康		13:20~16:40	3h	
平成30年8月8日(水)	(7)① 認知症を取り巻く状況	定井雅子	9:20~10:20	1h	無
	(7)② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康		10:30~12:40	2h	
	(4)① 介護保険制度	多田千治	13:20~16:40	3h	
平成30年8月9日(木)	(7)③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	定井雅子	9:20~11:30	2h	無
	(7)④ 家族への支援	井上香里	11:40~12:40	1h	
	(4)② 医療との連携とリハビリテーション		13:20~16:40	3h	
平成28年8月10日(金)	(3)① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	多田友久	9:20~10:20	1h	無
	(3)② 介護職の職業倫理		10:30~12:40	2h	
	(3)② 介護職の職業倫理		13:20~14:20	1h	
	(3)③ 介護における安全性の確保とリスクマネジメント		14:30~15:30	1h	
	(3)④ 介護の安全性		15:40~16:40	1h	
平成30年8月20日(月)	(4)③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	多田千治	9:20~12:40	3h	無
	(9)① 介護の基本的な考え方	高橋道子	13:20~16:40	3h	

平成30年8月21日(火)	(9)①	介護の基本的な考え方	河野百合子	9:20~10:20	1h	無
	(9)②	介護に関するところのしくみの基礎的理解		10:30~12:40	2h	
	(9)②	介護に関するところのしくみの基礎的理解		13:20~15:30	2h	
	(9)③	介護に関するからだのしくみの基礎的理解		15:40~16:40	1h	
平成30年8月22日(水)	(9)③	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	湯浅美佐子	9:20~12:40	3h	無
	(9)③	介護に関するからだのしくみの基礎的理解		13:20~14:20	1h	
	(9)⑨	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		14:10~16:40	2h	
平成30年8月23日(木)	(9)④	生活と家事	河野百合子	9:20~12:40	3h	無
	(9)④	生活と家事		13:20~16:40	3h	無
平成30年8月24日(金)	(9)⑤	快適な居住環境整備と介護	高橋道子	13:00~16:20	3h	有
平成30年8月28日(火)	(9)⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	河野百合子	13:00~16:20	3h	有
平成30年8月29日(水)	(9)⑨	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	湯浅美佐子	13:00~16:20	3h	有
平成30年8月30日(木)	(9)⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	河野百合子	13:00~16:20	3h	有
平成30年9月7日(金)	(9)⑤	快適な居住環境整備と介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年9月14日(金)	(9)⑤	快適な居住環境整備と介護	高橋道子	14:00~15:00	1h	有
	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		15:10~16:10	1h	
平成30年9月21日(金)	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年9月28日(金)	(9)⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	湯浅美佐子	14:00~16:10	2h	有
平成30年10月5日(金)	(9)⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	湯浅美佐子	14:00~16:10	2h	有
平成30年10月12日(金)	(9)⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	湯浅美佐子	14:00~16:10	2h	有
平成30年10月19日(金)	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年11月2日(金)	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~15:00	1h	有
	(9)⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		15:10~16:10	1h	
平成30年11月9日(金)	(9)⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年11月16日(金)	(9)⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年11月30日(金)	(9)⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	14:00~16:10	2h	有
平成30年12月7日(金)	(9)⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	湯浅美佐子	14:00~16:10	2h	有

平成30年12月14日(金)	(9)⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	湯浅美佐子	14:00～16:10	2h	有
平成30年12月17日(月)	(9)⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高橋道子	9:20～12:40	3h	有
	(9)⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護		13:20～14:20	1h	有
	(9)⑬	介護過程の基礎的理解		14:30～15:30	1h	有
平成30年12月18日(火)	(9)⑬	介護過程の基礎的理解	高橋道子	9:20～12:40	3h	有
	(9)⑬	介護過程の基礎的理解		13:20～15:30	2h	有
平成30年12月19日(水)	(9)⑭	総合生活支援技術	坂東節子	9:20～12:40	3h	有
	(9)⑭	総合生活支援技術		13:20～16:40	3h	有
平成31年1月11日(金)	(10)①	振り返り	湯浅美佐子	14:00～16:10	2h	無
平成31年1月25日(金)	(10)②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	坂東節子	14:00～16:10	2h	無
平成31年2月8日(金)		修了評価筆記試験 試験結果集計・採点・合否発表	片山貴子 井上香里	14:00～15:00	1h	
		不合格者補習	片山貴子	15:30～16:30	1h	
平成31年2月15日(金)		修了評価筆記試験 試験結果集計・採点・合否発表	片山貴子 井上香里	14:00～15:00	1h	
		不合格者補習	井上香里	15:30～16:30	1h	
平成31年2月22日(金)		修了評価筆記再試験 試験結果集計・採点・合否発表	片山貴子 井上香里	14:00～15:00	1h	
平成29年3月4日(土)		閉講式	多田千治 片山貴子 井上香里 定井雅子	10:00～11:00	1h	

※大阪府に実績報告がなされるまで、自らのホームページで情報開示を継続しておくこと。

※研修開始時には、開講式・オリエンテーションを実施すること。

※「(1)職務の理解」は研修開始直後の科目として実施し、「(10)振り返り」は修了評価前の最終科目として実施すること。ただし、「(2)③人権啓発に係る基礎知識」は除く。

※通信学習の方法による場合は、通信課題の配布とその提出期限を記載すること。

修了評価の方法

評価基準作成者：片山貴子・井上香里

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 (1) 職務の理解から(9) ころとからだのしくみと生活支援技術までとする。</p> <p>2 出題形式 四肢もしくは五肢択一形式、正誤選択形式、記述形式、語句選択形式とする。</p> <p>3 出題数 問題A：正誤選択問題39問(配点1点)、択一問題11問(配点2点) 記述式問題5問(配点5点)、語句選択問題14問(配点1点) 全問正解 100点満点 問題B：正誤選択問題45問(配点1点)、択一問題11問(配点2点) 記述式問題5問(配点3点)、語句選択問題9問(配点2点) 全問正解 100点満点</p> <p>4 合否判定基準 60点以上にて合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 不合格者に関しては、個別指導ならびに再試験を実施し、再評価を行う。再評価に係る合否判定基準は60点以上とする。(個別指導費用1,500円・再試験費用1,000円) 再評価は、再試験のみ最大3回までとする。最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなる。</p>
------------	---